



## 飼い主のいない猫対策

# 地域で取り組む TNR

## 不妊去勢手術と管理

行政では、愛護動物である猫の殺処分目的の捕獲は、行っていません。

猫は繁殖力が強いので、人間が繁殖をコントロールしなければ、どんどん増えていきます。

飼い主のいない猫の問題を地域の課題として、猫が好きな方も、そうでない方も快適に過ごすため、厳しい環境で生きる猫たちが、少しでも快適に暮らし、不幸な命がこれ以上増えないようにするために、不妊・去勢手術をして元の場所に戻し、エサやトイレのお世話をするTNR活動にご理解・ご協力を。

## TNR活動のメリット

- 不妊・去勢手術をすることで、望まれない繁殖を防止し、徐々に猫の数が減る。
- 発情による迷惑行為（鳴き声、尿スプレー、徘徊等）が減る。
- 猫には縄張りがあるので、手術した猫を元の場所に戻すことで、他の新しい猫がくることを防ぐ。
- エサのお世話をする、猫がゴミを荒らすことが減る。
- トイレのお世話をする、至るところに糞尿をすることが減る。

## 猫の繁殖力・生態

- 猫はとても繁殖力が強く、1年に2～4回、1回に4～8頭出産。
- 1頭のメス猫が、1年間で20頭出産することもある。数年後には何千頭になる可能性も。
- 厳しい環境で生きるため、寿命は3～5年。交通事故で亡くなることも多い。
- 猫の縄張りは50～500m、メス猫<去勢済オス猫<未去勢オス猫の順に広がる。
- 猫は、古来より人間が人と生活するように変えてしまった動物。人間のお世話と管理が必要。

## 迷惑対策 一敷地内に侵入されて困っている場合

- 乾燥した土や砂の場所をなくす。猫が苦手な水をまく。猫にかからないように。
- トゲのある植物、ヒモ、棒、植木鉢、レンガ、アルミ箔を置くなども効果あり。
- 物置や納屋に入れないようにする。出産場所になります。
- 市販の猫対策グッズ（忌避剤、超音波、水噴射、トゲ付きマット）を利用してみる。
- 猫の嫌がるにおいのものを置いたり、まいたりする。  
（例）食 品：米のとぎ汁、食用酢（希釈）、乾燥させたお茶、コーヒーかす等  
食品以外：ナフタリン、塩素系漂白剤（希釈）、園芸用木酢酢、香水、ハーブ等

飼い主のいない猫にエサを与える方は  
**必ず ①不妊・去勢手術 ②エサの管理 ③トイレの管理を！**

Q.エサをあげなければ、猫の数は減るのでは？

A.エサをやめても猫は動物ですから、生ゴミを荒らしたり、わずかなエサをめぐるケンカが絶えなくなったり、エサを求めて近隣地域にもエリアを拡大・移動しながら繁殖を繰り返しますので、猫は減りません。  
解決策は、不妊・去勢手術しかありません。

# T N R の方法



TNR活動の実施主体は、次のような地域住民の方です。

センターやボランティア団体は、技術指導や助言等は行いますが、実施主体ではありません。

- 飼い主のいない猫にエサをあげている方
- 飼い主のいない猫対策に対して、ボランティアとして活動していただける方

## T r a p 捕獲

- センターは猫の捕獲及び捕獲器の貸し出しはしていません。捕獲できないなど、困ったことがあれば、ご相談ください。

## N e u t e r 不妊・去勢手術

- 最初の発情期を迎える前に手術をすることで、手術による負担が少なく、繁殖を未然に防げる。メス猫の場合、妊娠・授乳中の手術による胎児猫・ミルク猫の命を奪うことも防げる。
- 飼い猫は栄養具合等がよく、早ければオスで3ヶ月、メスで4ヶ月頃に発情期を迎えるが、飼い主のいない猫は、成長具合や体調がそれぞれのため、成長具合、体調等を獣医師と相談し、その子にあった時期に。（一般的な目安は生後6ヶ月以上かつ体重2kg以上）
- 手術の際は、耳カットをしてもらう。耳カットがないと、手術済とわからず、再手術される恐れあり。
- TNR活動で起こりうる以下のことについて、理解のある動物病院に事前に相談。（手術の予約日に捕獲できない、捕獲した猫が院内に病気を持ち込むかもしれないなど）
- 手術費用は、動物病院により異なるが、確認は、動物病院の迷惑にならない範囲で。
- 手術費用について、徳島県獣医師会（受付10月頃）及び市町村によっては助成あり。受付の時期、頭数等の制限があるため、詳細は助成をしている各窓口。
- 手術後は、体調を崩したり、感染症になりやすいので、いつも以上に見守りを。メス猫は安静に。

## R e t u r n 元の場所に戻して、お世話をする

- トイレの世話
  - エサ場の近く（近すぎも×）で、夜も少し明かりがあるところに設置。
  - 猫の体が入る十分な大きさの入れ物（プランター、収納ケースなど）に砂などをたっぷり。
  - 数は猫より多く設置。
  - はじめは、猫の糞をトイレの砂に混ぜ、猫がトイレとわかるように。
  - 毎日糞を取り除く。常に清潔でないと猫が嫌がる。
  - 定期的な砂の入れ替えと、スコップなどで土が柔らかくなるように掘り返す。
- エサをあげる場合の注意
  - 他の猫が居つくのを防ぐため、決まった猫以外には与えない。
  - エサは決まった時間に決まった場所であげ、それ以外ではあげない。
  - 土地の所有者等が同意しており、近隣住民に迷惑にならない場所にする。
  - 置きエサ禁止！猫が食べきれない量をあげ、食べ終わるのを待って、容器を片付ける。
  - エサは、キャットフードに。残飯は糞尿が悪臭になり、ゴミをあさるようになる。
  - 去勢後のオス猫は尿路結石になりやすいため、エサのマグネシウム量を考慮。